



## 2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 正伸  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当執行役員 (氏名) 大谷 隆一 (TEL) 03-3518-1111  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	33,075	5.3	2,305	17.6	2,233	34.0	1,373	14.5
2023年9月期第1四半期	31,408	30.2	1,960	30.9	1,666	△4.6	1,199	9.0

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 1,126百万円(21.7%) 2023年9月期第1四半期 925百万円(△22.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	47.73	47.47
2023年9月期第1四半期	41.77	41.49

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	71,302	44,378	61.6
2023年9月期	68,537	43,890	63.4

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 43,938百万円 2023年9月期 43,442百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	21.00	—	22.00	43.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	21.00	—	22.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	4.5	6,000	△8.1	6,200	△12.6	4,000	△16.4	139.03

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社の経営計画および業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成していません

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年9月期1Q	29,007,708株	2023年9月期	29,007,708株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年9月期1Q	228,985株	2023年9月期	236,385株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年9月期1Q	28,775,103株	2023年9月期1Q	28,723,587株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国の金融引き締め、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢悪化など地政学的リスクの高まり、中国経済の回復の遅れ等、依然として先行き不透明な状況が続いていますが、足もとでは緩やかな景気回復が進んでいます。

当社グループがビジネスを展開する地域別に概観すると、米国では、個人消費・住宅投資が堅調に推移するなか、景況感が改善しています。中国では、低調な不動産投資や高止まりする失業率等を懸念材料として景況感が悪化しているものの、その他アジア各国の景気は概ね緩やかに回復しています。日本では、インフレ率の高止まりがみられるものの、堅調な個人消費・自動車生産等を背景に、景気は回復基調にあります。

このような環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は33,075百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は2,305百万円（前年同四半期比17.6%増）、経常利益は2,233百万円（前年同四半期比34.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,373百万円（前年同四半期比14.5%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### ① 化成品

ゴム関連商品は、自動車の国内生産好転により、顧客の部品在庫消化が進み、原材料需要は回復傾向にあるものの、円安による仕入価格高騰の影響もあり、売上、利益ともに前期比減少しました。

化学品関連商品は、主力商材の好調や新規商材の取扱開始、価格見直しによる利益率の改善などが進み、売上、利益ともに好調に推移しました。

ライフサイエンス関連商品は、電材、フィルム、香料などの主力商材が好調で、売上、利益ともに堅調に推移しました。

この結果、化成品の売上高は9,964百万円（前年同四半期比2.5%減）、営業利益は638百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

#### ② 機械資材

産業資材関連商品は、日系自動車メーカーの生産回復により売上、利益ともに堅調に推移しました。

グリーンテクノロジー関連商品(旧 機械・環境関連商品)は、木質バイオマス関連事業が本体案件の受注なく不調でしたが、飼料加工機器関連における消耗品販売の営業推進や大型設備投資案件の受注などがあり、前期比で好転しました。

科学機器関連商品は、メーカーの値上げなど販売価格高騰による受注減少や円安の影響で売上、利益ともに低調に推移しました。

コスモス商事(株)が取扱う資源開発関連商品は、地熱関連機材が好調を継続し、石油・ガス関連機材や海洋開発分野も堅調でした。(株)ワイピーテックが取扱う機能性飼料原料は主力商品の販売が好調でした。(株)スクラムが取扱うバイオ関連機器は遺伝子解析関連を中心に好調に推移しました。

この結果、機械資材の売上高は13,408百万円（前年同四半期比16.2%増）、営業利益は1,464百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

#### ③ 海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、フィルム関連や自動車関連が好調でした。三洋物産貿易（上海）有限公司は、景気減速の影響を受け、業績は昨年比で低調でした。Sanyo Trading Asia Co., Ltd.（タイ）は、自動車関連が好調でした。Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.は、自動車関連が好調でした。Sanyo Trading India Private Limitedは、ゴム関連が不調でした。Sanyo Trading (Viet Nam) Co., Ltd.は、景気の落込みの影響を受け、低調でした。PT. Sanyo Trading Indonesiaは、ゴム関連が不調でした。

この結果、海外現地法人の売上高は9,276百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益は695百万円（前年同四半期比71.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、商品及び製品が減少したものの現金及び預金や受取手形、売掛金及び契約資産の増加等により、前連結会計年度末比2,749百万円増加し、60,038百万円となりました。固定資産は、のれんの償却により減少したもののその他の無形固定資産の取得による増加等により、前連結会計年度末比15百万円増加し、11,263百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は71,302百万円（前連結会計年度末比2,764百万円の増加）となりました。

### (負債)

流動負債は、未払法人税等や賞与引当金の減少があったもののその他の流動負債の増加等により、前連結会計年度末比2,446百万円増加し、25,107百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末比168百万円減少し、1,816百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は26,924百万円（前連結会計年度末比2,277百万円の増加）となりました。

### (純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があったものの為替の変動による為替換算調整勘定の減少がありました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における純資産は44,378百万円（前連結会計年度末比487百万円の増加）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期連結業績予想につきましては、2023年11月7日発表の通期予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,031,285	8,234,994
受取手形、売掛金及び契約資産	22,249,273	23,866,112
電子記録債権	2,545,123	2,990,468
商品及び製品	23,148,611	22,195,943
仕掛品	66,829	103,196
原材料及び貯蔵品	214,155	224,057
その他	2,124,073	2,532,563
貸倒引当金	△90,360	△108,906
流動資産合計	57,288,989	60,038,429
固定資産		
有形固定資産	3,238,052	3,264,909
無形固定資産		
のれん	1,600,965	1,495,988
その他	253,121	354,804
無形固定資産合計	1,854,087	1,850,792
投資その他の資産		
投資有価証券	4,274,302	4,273,639
その他	1,915,702	1,907,640
貸倒引当金	△33,724	△33,196
投資その他の資産合計	6,156,280	6,148,082
固定資産合計	11,248,420	11,263,784
資産合計	68,537,410	71,302,214

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,838,354	12,537,218
短期借入金	5,350,394	5,813,493
1年内返済予定の長期借入金	30,936	—
未払法人税等	1,602,878	839,220
引当金	888,445	249,165
その他	2,950,346	5,668,594
流動負債合計	22,661,356	25,107,691
固定負債		
長期借入金	333,755	150,000
引当金	70,292	71,097
退職給付に係る負債	926,658	936,664
その他	654,633	658,667
固定負債合計	1,985,339	1,816,429
負債合計	24,646,695	26,924,120
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	413,388	414,117
利益剰余金	39,040,908	39,781,350
自己株式	△113,753	△110,192
株主資本合計	40,347,130	41,091,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,535,036	1,508,997
為替換算調整勘定	1,560,372	1,337,403
その他の包括利益累計額合計	3,095,408	2,846,400
新株予約権	96,238	91,956
非支配株主持分	351,935	347,874
純資産合計	43,890,714	44,378,093
負債純資産合計	68,537,410	71,302,214

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	31,408,488	33,075,254
売上原価	26,229,015	27,196,394
売上総利益	5,179,473	5,878,860
販売費及び一般管理費	3,218,741	3,573,636
営業利益	1,960,731	2,305,223
営業外収益		
受取利息	2,351	9,364
受取配当金	33,995	38,995
その他	39,894	33,021
営業外収益合計	76,241	81,382
営業外費用		
支払利息	30,151	14,128
為替差損	328,586	129,494
その他	11,579	9,676
営業外費用合計	370,317	153,299
経常利益	1,666,656	2,233,305
特別利益		
投資有価証券売却益	220,064	—
特別利益合計	220,064	—
税金等調整前四半期純利益	1,886,720	2,233,305
法人税等	681,878	858,535
四半期純利益	1,204,841	1,374,769
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,955	1,358
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,199,886	1,373,410



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,204,841	1,374,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150,643	△25,731
為替換算調整勘定	△430,475	△222,953
その他の包括利益合計	△279,831	△248,685
四半期包括利益	925,010	1,126,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	920,220	1,124,416
非支配株主に係る四半期包括利益	4,789	1,668

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(会計方針の変更)

在外子会社等の収益および費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算していましたが、当第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しています。

この変更は、在外子会社等の重要性が今後更に見込まれることから、一時的な為替相場の変動による期間損益等への影響を緩和し、在外子会社等の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものです。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっています。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高は488百万円、営業利益は56百万円、経常利益は15百万円、税金等調整前四半期純利益は15百万円および親会社株主に帰属する四半期純利益は10百万円それぞれ増加しており、1株当たり四半期純利益は37銭増加しています。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は39百万円減少し、為替換算調整勘定の前期首残高は同額増加しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,222,747	11,536,642	9,532,342	31,291,733	27,876	31,319,609	88,878	31,408,488
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,410,998	212,934	632,845	2,256,779	25,001	2,281,780	△2,281,780	—
計	11,633,746	11,749,577	10,165,188	33,548,512	52,878	33,601,390	△2,192,902	31,408,488
セグメント利益 又は損失(△)	587,653	1,323,765	405,139	2,316,558	△92,783	2,223,775	△263,043	1,960,731

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額88,878千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△263,043千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△221,192千円、管理会計との為替調整額△165,563千円、その他の連結調整額123,658千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、(株)コスモ・コンピューティングシステムの株式を取得し、連結子会社としたことにより、「その他」セグメントにおいて、のれん438,082千円を計上しています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,964,253	13,408,142	9,276,945	32,649,342	344,144	32,993,487	81,767	33,075,254
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,453,403	690,738	541,484	2,685,627	146,630	2,832,258	△2,832,258	—
計	11,417,657	14,098,881	9,818,430	35,334,970	490,775	35,825,745	△2,750,490	33,075,254
セグメント利益 又は損失(△)	638,929	1,464,454	695,293	2,798,677	△22,414	2,776,263	△471,040	2,305,223

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業および不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額81,767千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△471,040千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△311,076千円、管理会計との為替調整額△101,714千円、その他の連結調整額△58,248千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より在外子会社等の収益および費用を期中平均相場により円貨に換算する方法に変更を行っています。なお、前第1四半期連結累計期間については遡及適用後の数値を記載しています。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	合計
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計			
日本	8,568,589	10,593,160	56,402	19,218,151	27,876	-	19,246,027
アジア	1,351,775	369,816	4,402,878	6,124,469	-	-	6,124,469
北米	201,043	414,640	4,695,773	5,311,456	-	-	5,311,456
その他	101,338	159,024	377,288	637,650	-	-	637,650
顧客との契約から生じる収益	10,222,747	11,536,642	9,532,342	31,291,733	27,876	-	31,319,609
その他の収益	-	-	-	-	-	88,878	88,878
外部顧客への売上高	10,222,747	11,536,642	9,532,342	31,291,733	27,876	88,878	31,408,488

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、管理会計との為替調整額です。

3. 顧客との契約から生じる収益は、販売先の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	合計
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計			
日本	8,581,858	12,522,523	18,829	21,123,211	344,144	-	21,467,356
アジア	1,191,230	284,635	4,637,609	6,113,476	-	-	6,113,476
北米	126,872	367,520	4,130,602	4,624,995	-	-	4,624,995
その他	64,292	233,463	489,903	787,659	-	-	787,659
顧客との契約から生じる収益	9,964,253	13,408,142	9,276,945	32,649,342	344,144	-	32,993,487
その他の収益	-	-	-	-	-	81,767	81,767
外部顧客への売上高	9,964,253	13,408,142	9,276,945	32,649,342	344,144	81,767	33,075,254

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業および不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、管理会計との為替調整額です。

3. 顧客との契約から生じる収益は、販売先の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

4. 「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より在外子会社等の収益および費用を期中平均相場により円貨に換算する方法に変更を行っています。なお、前第1四半期連結累計期間については遡及適用後の数値を記載しています。